

特別支援学級 生活単元学習指導案

日 時 平成20年10月10日(金)5校時
児 童

計 27名

指導者

1 単元名 「サーキットトレーニングをしよう」

2 単元設定の理由

(1) 児童について

略

日常生活の様々な場面で、裸足を好んだり、のり付けを嫌がったり、抱っこされることを嫌がるなどの感覚面でのつまずきが見られる児童がいる。また、まっすぐ姿勢を保つことができなかつたり、力加減がわからず友達にドーンとぶつかったり、叩いてしまったりする児童もあり、トラブルにつながってしまうことがある。

学習面では、不器用だつたり、書字やリコーダーが苦手だつたり、ダンスやなわとびが苦手な児童がいる。また、気が散りやすく落ち着きがない児童やボール遊びなど目を使う遊びが苦手な児童もいる。

集団としての学習は、マイペースで行動をする児童が多く、他との協調が課題となることが多かったが、少しずつ友達と活動することの楽しさを経験することでまとまりができてきている。

個別の学習場面や集団での学習場面で、一人一人の児童のつまずきや発達段階を的確に捉えながら、個々の発達課題に応じた活動内容を設定し、支援の手立てを工夫していく必要がある。

(2) 単元について

今年度は、日常生活における児童の様々なつまずきへのアプローチの一つとしての「感覚統合法」について学びながら、理論研究、実践研究に取り組んできた。具体的な取り組みとしては、実態把握のためのチェックシートを使って児童のつまずきを確認しながら、いろいろな学習活動の場面で感覚統合法の発達の理論にもとづいた運動や遊びに取り組んできた。

生活単元学習においても、前庭覚、固有覚、触覚への感覚刺激をねらいとしながら、「春を探そう」「ゲーム大会」「プールで水遊びをしよう」「小物入れ作りをしよう」「流しそうめんをしよう」など様々な単元を設定し取り組んできた。

本単元「サーキットトレーニングをしよう」は、一人一人の児童のつまずきへのアプローチとして、子供達にとってどのような感覚刺激が必要なのかを見極めながら、ダイナミックな遊びに楽しく取り組む力をつけることをねらいとして設定したものである。

サーキットトレーニングに使う遊具については、身の回りにある材料を使って、友達と楽しく製作した手作り教材とトランポリンやボールプール、スクーターボードなどの遊具を組み合わせるサーキット遊びを工夫していきたい。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、まず「感覚統合発達チェックシート」を使って児童の発達のつまずきを捉えることから取り組んできた。その中で児童一人一人にどのような感覚刺激が必要であり、そのために必要なアプローチにはどのような遊具が適当であるかを探ってきた。

遊具については日常、児童が喜んで遊んでいる遊具に手作り教材を組み合わせながら、工夫して使用していきたい。

手作り教材の製作活動では、身の回りにある物を使って児童と楽しく取り組んでいきたい。できあがりを楽しみに、見通しを持って活動できるように、個々の発達段階に応じた支援をしていきたい。

実際の運動やゲームの場面では、一人一人の児童の様子をよく観察しながら、「怖がっていないか」など児童の様子を見ながら活動を調整していくようにしたい。また、「楽しそうだな」「やってみたいな」という気持ちにさせながら、ちょっとがんばればできるものを準備していきたい。

サーキットトレーニングでは、音楽に合わせてリラックスした雰囲気の中で児童が自分からもっとやりたいという気持ちを持てるよう、また、「やったあ！できた」という成就感を味わえるように、児童の様子をしっかりと観察しながら支援していきたい。

ゲーム大会では、チームの中で友達と活動することの喜びを感じながら、楽しく運動できるよう、チーム編成やゲーム内容を工夫しながらすすめていきたい。

3 指導目標

楽しく体を動かして、自分から進んで遊ぶことができる。

4 指導計画（総時数 10時間）

- | | | |
|---------------------|-------|--------------|
| (1) 牛乳パックハードルを作ろう | ----- | 2時間 |
| (2) 足あと遊びをしよう | ----- | 1時間 |
| (3) ポンポンゲートを作ろう | ----- | 2時間 |
| (4) スクーターボードで遊ぼう | ----- | 1時間 |
| (5) サーキットトレーニングをしよう | ----- | 2時間 |
| (6) ゲーム大会をしよう | ----- | 2時間（本時2 / 2） |

5 本時の指導

(1) 前時までの指導

これまで児童は、ゲーム大会に向けて「牛乳パックハードルを作ろう」「足あと遊びをしよう」「ポンポンゲートを作ろう」「スクーターボードで遊ぼう」「サーキットトレーニングをしよう」の活動をしてきた。

「牛乳パックハードルを作ろう」では、牛乳パックに新聞紙をつめてカラーガムテープを巻いてハードル作りに取り組んだ。新聞紙の感触を楽しみながら丸めたり、楽しく活動することができた。ガムテープを貼る活動では6年生がリーダーとなり、3つのグループで協力しながら活動することができた。

「足あと遊びをしよう」では、できあがった牛乳パックハードルや足形カードと爆弾カードを使ってコースを作り、足あと遊びに取り組んだ。児童が自ら工夫して障害物をおいたりしながら、楽しくゲームをすることができた。

「ポンポンゲートを作ろう」では、段ボール片にカラービニールテープを巻いてポンポンゲートを製作した。2つのグループに分かれ、長さや量を調整しながらビニールテープを裂いていく活動などに楽しく取り組むことができた。

「スクーターボードで遊ぼう」では、スクーターボードでスロープを降り、ポンポンゲートをくぐり降りる遊びに取り組んだ。児童の発達段階に合わせてくぐり抜ける時にポンポンゲートの上に置いたポンポンかつらを取ったり、ゲートをくぐった後に牛乳パックハードルを倒したりするコースを作るなどの工夫をすることで、児童の発達課題に応じて幅広い活動をすることができた。

「サーキットトレーニングをしよう」では、今まで遊んできた遊具を組み合わせさせてサーキットを作り、音楽に合わせて楽しく体を動かすことができた。それぞれの遊具では児童が自ら工夫して遊んだり、友達を思いやりながら楽し運動する様子が見られた。

(2) 本時の指導にあたって

本時は「ゲーム大会をしよう」の2時間目であり、「サーキットトレーニング」のしめくくりの学習となる。前時のゲーム大会ではチームごとに励まし合ったり、協力し合いながら楽しくゲームをする姿が見られた。

本時でも児童が友達と楽しくかかわりを持ちながらゲームに参加し、成就感や達成感を味わうことができるよう支援していきたい。

(3) 本時のねらい

共通のねらい

楽しく体を動かして、自分から進んで遊ぶことができる。

個人のねらい

氏名	個人のねらい	個への配慮・手立て
A	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。固有覚，前庭覚へのアプローチ（トランポリン，スクーターボード）	・怖がらないで遊具で遊ぶことができるよう声をかけたり，体を支えてあげるなどの支援する。
B	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。固有覚、前庭覚へのアプローチ（平均台，スクーターボード）	・怖がらないで遊具で遊ぶことができるよう声をかけたり，体を支えてあげるなどの支援する。
C	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。固有覚、前庭覚，触覚へのアプローチ（平均台，スクーターボード等）	・怖がらないで遊具で遊ぶことができるよう声をかけたり，体を支えてあげるなどの支援する。
D	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。固有覚，触覚へのアプローチ（トランポリン，平均台，ボールプール）	・自分からやってみたいと思って取り組めるよう，声かけ等で支援していく。
E	・リーダーとして友だちとのかかわりを持つことができる。固有覚へのアプローチ（スクーターボード，牛乳パックハードル）	・自分から下級生とかかわりを持ってリーダーとしてゲーム大会に参加できるように，声をかける。
F	・介助されながらいろいろな遊具で体を動かすことができる。固有覚，触覚へのアプローチ（毛布ブランコ，ボール）	・快の状態が作れるよう，表情等様子を見ながら，取り組んでいく。
G	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。固有覚，触覚へのアプローチ（トランポリン，平均台，ボールプール）	・怖がらないで遊具で遊ぶことができるよう声をかけたり，体を支えてあげるなどの支援する。
H	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。固有覚，触覚へのアプローチ（トランポリン，平均台，ボールプール）	・怖がらないで遊具で遊ぶことができるよう声をかけたり，体を支えてあげるなどの支援する。

I	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。固有覚，触覚へのアプローチ（トランポリン，平均台，ボールプール）	・怖がらないで遊具で遊ぶことができるよう声をかけたり，体を支えてあげるなどの支援する。
J	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。固有覚，触覚へのアプローチ（トランポリン，平均台，ボールプール）	・自分からやってみたいと思って取り組めるよう，声かけ等で支援していく。
K	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。前庭覚，触覚視覚へのアプローチ（スクーターボード，ボールプール）	・怖がらないで遊具で遊ぶことができるよう声をかけたり，体を支えてあげるなどの支援する。
L	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。触覚へのアプローチ（ボールプール，マット，バランスボール）	・自分からやってみたいと思って取り組めるよう，声かけ等で支援していく。
M	・ゲーム大会では友達と楽しくかかわりを持つことができる。前庭覚，触覚へのアプローチ（トランポリン，ボールプール）	・自分から友達とかかわりを持ちながらゲーム大会に参加できるよう，声をかける。
N	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。固有覚，触覚へのアプローチ（トランポリン，平均台，ボールプール）	・自分からやってみたいと思って取り組めるよう，声かけ等で支援していく。
O	・ゲーム大会では友達と楽しくかかわりを持つことができる。前庭覚，触覚へのアプローチ（トランポリン，ボールプール）	・自分から友達とかかわりを持ちながらゲーム大会に参加できるよう，声をかける。
P	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。触覚へのアプローチ（ボールプール，マット，バランスボール）	・自分からやってみたいと思って取り組めるよう，声かけ等で支援していく。
Q	・ゲーム大会では友達と楽しくかかわりを持つことができる。前庭覚，触覚へのアプローチ（トランポリン，ボールプール）	・自分から友達とかかわりを持ちながらゲーム大会に参加できるよう，声をかける。

R	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。前庭覚，触覚へのアプローチ（スクーターボード，ボールプール）	・怖がらないで遊具で遊ぶことができるよう声をかけたり，体を支えてあげるなどの支援する。
S	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。前庭覚，触覚へのアプローチ（スクーターボード，ボールプール）	・怖がらないで遊具で遊ぶことができるよう声をかけたり，体を支えてあげるなどの支援する。
T	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。固有覚，触覚へのアプローチ（トランポリン，平均台，ボールプール）	・自分からやってみたいと思って取り組めるよう，声かけ等で支援していく。
U	・リーダーとして友だちとのかかわりを持つことができる。触覚へのアプローチ（マット，ボールプール，トランポリン）	・自分から下級生とかかわりを持ってリーダーとしてゲーム大会に参加できるよう，声をかける。
V	・リーダーとして友だちとのかかわりを持つことができる。触覚へのアプローチ（マット，ボールプール，トランポリン）	・自分から下級生とかかわりを持ってリーダーとしてゲーム大会に参加できるよう，声をかける。
W	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。前庭覚，固有覚へのアプローチ（スクーターボード，トランポリン）	・怖がらないで遊具で遊ぶことができるよう声をかけたり，体を支えてあげるなどの支援する。
X	・いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。前庭覚，固有覚へのアプローチ（スクーターボード，トランポリン）	・怖がらないで遊具で遊ぶことができるよう声をかけたり，体を支えてあげるなどの支援する。
Y	・ゲーム大会では友達と楽しくかかわりを持つことができる。前庭覚，触覚へのアプローチ（トランポリン，ボールプール）	・自分から友達とかかわりを持ちながらゲーム大会に参加できるよう，声をかける。
Z	・ゲーム大会では友達と楽しくかかわりを持つことができる。前庭覚，触覚へのアプローチ（トランポリン，ボールプール）	・自分から友達とかかわりを持ちながらゲーム大会に参加できるよう，声をかける。
AA	・リーダーとして友だちとのかかわりを持つことができる。固有覚へのアプローチ（スクーターボード，あみくぐり）	・自分から下級生とかかわりを持ってリーダーとしてゲーム大会に参加できるよう，声をかける。

本時の流れ

段階	学習内容	学習活動	支援の手立て	準備物
導入	1 あいさつ 2 学習内容の確認 (5分)	あいさつをする。 今日の学習内容を知る。	・元気にあいさつをするように促す。 ・活動の見通しが持てるようにボードで確認する。	集合用シート ボード 掲示
展開	3 活動 1 「準備体操をしよう」 4 活動 2 「サーキットトレーニングをしよう」 5 活動 3 「ゲーム大会をしよう」 (35分)	・音楽に合わせて走る、飛ぶ、歩く等の運動をする。 ・音楽を合図にサーキットで遊ぶ。 ・2グループに分かれ、ゲーム大会をして遊ぶ。	・楽しく体を動かせるよう、声をかけたり、一緒に活動しながら支援をする。 ・個々のねらいとなる活動を意識しながら、一人一人の児童の様子に合わせて、声かけや補助による支援をする。 ・リーダーを中心として、チームで協力したり、友達と楽しくかかわりを持てるように声かけや補助による支援する。	CD トランポリン ボールプール スクーターボード 牛乳パックハードル ボンボンゲート 平均台 ケンパ 巨大バランスボール マット 網くぐり 毛布ブランコの当て 輪投げ コーン 赤白の旗 集合用シート
終結	6 まとめ 7 あいさつ (5分)	・感想を発表し合う。 ・あいさつをする。	・活動を振り返って、大きな声で発表できるよう声かけをする。 ・元気にあいさつをするように促す。	集合用シート

(3) 評価

- ・ 楽しく体を動かしながら、自分から進んで遊ぶことができたか。

< 学習の場 >

